



亀田郷土地改良区

新潟県新潟市江南区東早通1丁目2番25号
〒950-0148 TEL 025 (381) 2131 FAX 025 (382) 6756
ホームページ http://www.kamedagou.jp

発行責任者 五十嵐 修平

東部地区 事務所	亀田出張所 381-7586 ☎382-9339	西部地区 事務所	石山出張所 286-4816 ☎286-2340
南部地区 事務所	横越出張所 385-2018 ☎385-4833	北部地区 事務所	鳥屋野出張所 244-3778 ☎243-1230
	曾野木出張所 280-6101 ☎280-6218		大形出張所 273-1754 ☎270-0222
	両川出張所 280-2130 ☎280-3856		大江山出張所 276-2381 ☎277-5521

● 亀田郷土地改良地区シンボルカラー ● 農地 ● 水をイメージ



組合員 4,799人 : 横越 975 / 大江山 771 / 亀田 726 / 両川 449 / 曾野木 487 / 鳥屋野 239 / 山湯 232 / 石山 336 / 大形 584 平成21年4月1日現在



理事長 五十嵐 修平 (山湯工区)

副理事長 丸山 征一 (亀田工区)

去る2月6日に理事会を開催し、新理事の互選により理事長・副理事長および総務・事業部会の正副部会長を決定しました。

三浦理事

陸事業部会長

松田理事

丸山副理事長

渡辺事業副部会長

五十嵐理事長

堀川理事

山我総務部会長

鈴木総務副部会長

理事長挨拶

五十嵐 修平

去る2月6日の理事会に於いて、理事の互選により理事長に再任され身の引き締まる思いです。組合員皆様の幸せと、地域住民の安心安全のため頑張る所存ですのでよろしくお願いいたします。

昨年の政権交代は、ある意味に於いては期待することがいくつかありました。「コンクリートから人へ」と、子供と教育には出産一時金の増額、子供手当の創設、高校の実質無償化等、国民生活を第一に考え、財源は行政刷新会議での事業仕分けによる無駄を省くことにより確保するという、一見まっとうな考えのようでした。しかし財源不足は深刻で税収はデフレの影響もあり伸びず、国債発行に頼らざるを得ない状況になっています。

その結果、農林予算のマニフェストにあった、食糧自給率向上と農家支援のためのモデル事業「戸別所得補償制度」は財源が無くならず、基盤整備のお金を廻すことに政治配慮も加わって決めてしまい、土地改良事業費は前年度比36・9%と未曾有の減額予算になりました。その後、「農山漁村地域整備交付金」が150億円という規模で創設されたものの新潟県への配分がいかほどかわかりません。

中東蒲原土地改良協議会では、関係機関や政党に対し23年度には元に戻してほしいと要望し、22年度の補正も考えてほしいと伝えてあります。また2月19日には、衆議院予算委員会の地方公聴会が新潟であり、4名の陳述人の一人に推薦され話す機会がありました。私は冒頭に減額予算を批判した後、用意した資料を元に亀田郷地域の現状を説明し、戸別所得補償と農業基盤整備は、農業の活性化と将来のための「車の両輪」であると結び、23年度には元に戻してほしいと訴えました。その後5人の先生方から一人20分の質問を受けましたが、反応はあったと自負しています。

親松排水機場の管理を一昨年4月から県より受けていますが、当改良区の予てからの懸案であった用排水の一元管理がようやく3月よりスタートすることになりました。各揚排水機場と親松排水機場を光ファイバーケーブルで結ぶ工事も完了し、水利第1係も親松排水機場に移動し、テストをしながら4月の用水開始に備えます。人事異動も毎年4月1日付で行っていたものを3月1日に行いました。3月の総代会で新年度の予算を提案するにあたり、国の予算が大幅減額の中で私たちはよりきめ細かく計画を見直していかなければならないと考えています。耐用年数をのばすストマネ事業を活用するとか鋼矢板の再利用とか工夫をしていきたいものです。

新年度は苦しいスタートですが、秋には新潟でAPEC農相会議が、また食の新潟国際賞が佐野藤三郎記念とし、第1回授与式があります。どのような人たちが選ばれるか興味のあるところです。組合員のご協力を頂き、役員と職員の対話を大切にしながら、亀田郷のかじ取り役としての役目を務めたいと思います。よろしくお願いたします。